

日本と朝鮮の歴史認識

糟谷憲一

1 日本と朝鮮との間の歴史認識の溝を埋める必要

- 日本が朝鮮との間に良好な関係を築いていくためには、朝鮮の歴史と日朝関係史についてよく知り、理解を深めることによって、両者の間の歴史認識の溝を狭め、埋めていく努力をする必要がある。

2 日本における朝鮮史認識、日朝関係史認識と高等学校歴史教科書

- 日本における朝鮮史認識、日朝関係史認識の状態は、認識の主体によってさまざま。
- ここでは、高等学校の歴史教育によって、朝鮮史、日朝関係史叙述に関して、どの程度の知識を得ることが可能かを検討したい。そのことを通じて、どのような認識が形成されるかを考えることができる。

3 もっとも多く使用されている高校歴史教科書における朝鮮史・日朝関係史叙述の特徴

- 山川出版社刊行の『詳説日本史』『詳説世界史』
- 教科書本文の頁数 『詳説日本史』：380頁 1頁900字 342,000字
(概算) 『詳説世界史』：370頁 1頁900字 333,000字
- 朝鮮史・日朝関係史叙述の字数 『詳説日本史』：8,050字 2.35%
『詳説世界史』：4,650字 1.40%
- 日本史教科書、世界史教科書に分かれて掲載されている。
- 日本教科書は日朝関係史が主
- 世界史教科書における朝鮮史叙述は貧弱である。とくに高麗史朝鮮社会の構造や歴史的発展のプロセスを把握しにくい。
前近代史においては中国中心的な叙述が目立つ。
朝鮮王朝史叙述は貧弱で、王朝後期には衰退していたという像が形成される可能性が大きい。
- 近代史においては朝鮮内部の自主的・主体的な改革の運動に関する叙述が不足している。日本による朝鮮植民地化過程、植民地支配に関する叙述も不十分である。

4 朝鮮史、日朝関係史の教育を充実する必要

- 高校歴史教科書（とくに世界史教科書）における朝鮮史・日朝関係史叙述は、朝鮮史・日朝関係史研究の到達点を反映していない。
- 高校における教育を充実する必要
そのためには、大学における朝鮮史研究・教育の体制を整備・充実する必要がある。
朝鮮史担当教員の配置を増やす必要がある。